



ようこそ鳥取市国府地域振興会議の皆様

住民と行政の協働によるまちづくり
島根県雲南市の取組み

無理をしない鍋山

安らぎの里をめざして

躍動と安らぎの里づくり鍋山

会長 春 美幸

平成29年10月27日

1.鍋山地区の概要

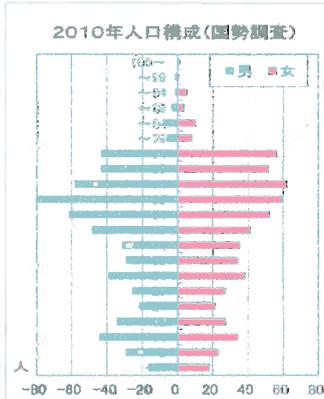
① 位置(省略)

② 人口

平成22年の鍋山地区の人口構成図(2010年) (人口:1,542人・高齢化率:36.1%)

① 鍋山地区には今どれくらいの人住んでいるでしょうか？

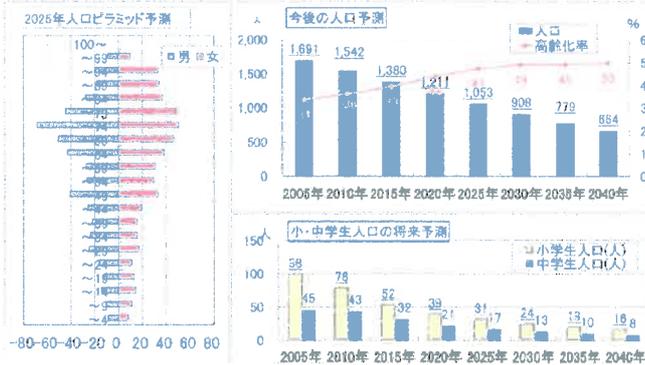
国勢調査の結果を見ると、平成22年の鍋山地区の人口は1,542人、高齢化率は36.1%となっています。5年前(平成17年)と比べると、この5年間で、人口は149人減り、高齢化率は2.4ポイント上がっています。



平成37年の鍋山地区の人口構成図(2025年) (人口:1,053人・高齢化率:47%) (推測)

このままの傾向が続いた場合・・・

このままの傾向が続いた場合、今から約15年たった2030年には、人口は今の約6割、900人程に減少し、高齢化率は50%近くになると予測されます。

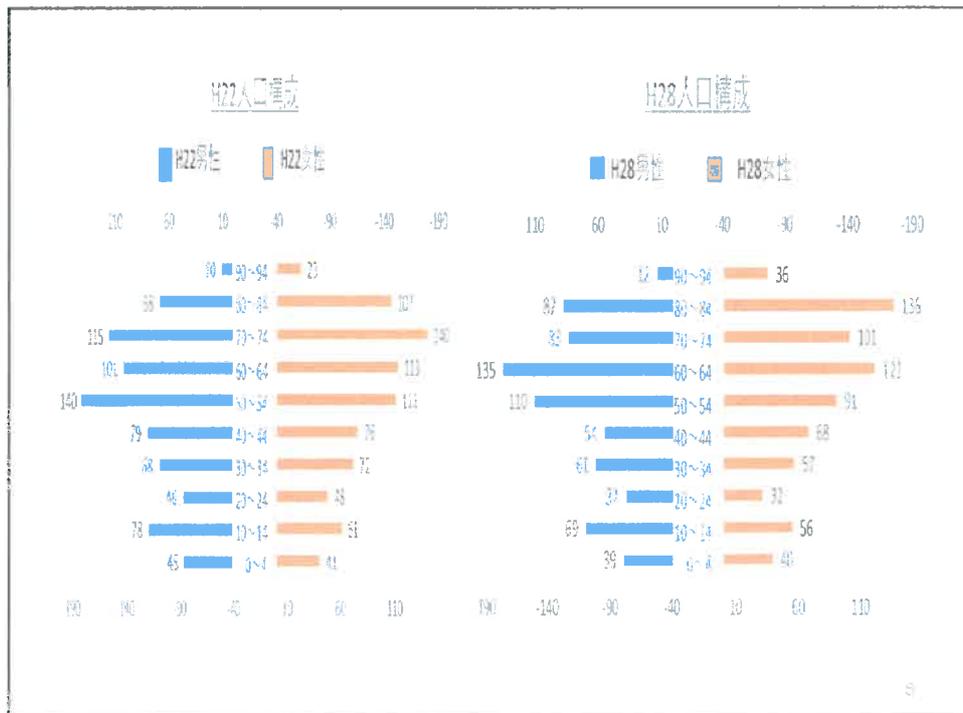


1. 鍋山地区の概要 (③ 人 口)

平成29年4月現在(対:25年度比較)

- ① 世帯数 412戸 (△17戸)
- ② 地区内の人口 1,398人 (△156人)
男性 684人(48,92%)・女性 714人 (51,08%)
- ③ 65歳以上の人口と高齢化率 556人 (39,77%)
(98人 増 ・ 10,3% 増)
- ④ 要支援者登録者数 62人 (20人 増)
- ⑤ 鍋山小学校の児童数 48人 (△10人)
・平成14年度 103人 (△55人)

4



5

2. 躍動鍋山の組織

① 設立の経緯

② 組織図

6

① 躍動鍋山(自主組織)設立の経緯

(1) 設立までの取組み

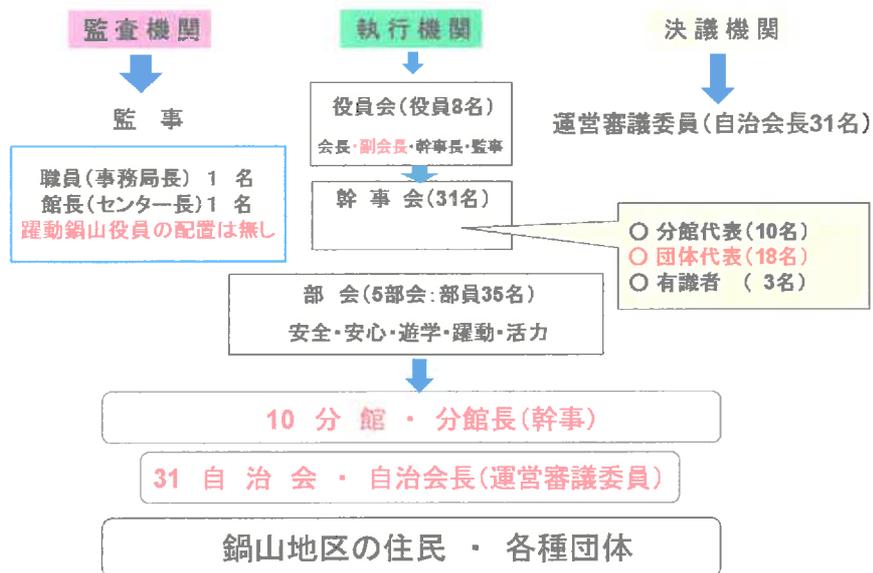
- ①平成17年 4月 7日 : 「地域自主組織」説明会に参加
・鍋山公民館・鍋山地区振興対策協議会の勉強会
- ②平成17年11月 7日 : 鍋山地区設立準備委員会発足
・研修会・先進地視察・規約検討
- ③平成18年 3月17日 : 自治会連合会に働きかけ
- ④平成18年 7月 3日 : 自治会評議員との合同会
・自治会連合会運営審議員を準備委員会構成員に
- ⑤平成18年11月30日 : 最終の設立準備委員会開催
・総会提出の規約・役員(案)を決定
- ⑥平成18年12月20日 : 躍動と安らぎの里づくり鍋山発足
10支部 31自治会 448世帯

(1) 設立から3年間の躍動鍋山の会則と
既存組織の位置づけ

- ① 既存団体の意義・役割を認め継続を尊重した
(各団体長を躍動鍋山の中核機関「幹事会」の構成員とした)
- ② 既存団体に無い、事業部会を設置し中立性を示した
(安全部会・安心部会・遊学部会・躍動部会・活力部会)
- ③ 既存団体の活動を躍動鍋山の事業として取り込んだ
(生涯学習・地域振興・福祉・環境・防災・子育て・スポーツなど)
- ④ 当時、会長(秦)には既存団体の役職は無かった
(主要団体長(4名)を副会長に指名し、地区内の均衡を図った)

8

② (1)平成18年12月設立時の躍動鍋山組織図



9

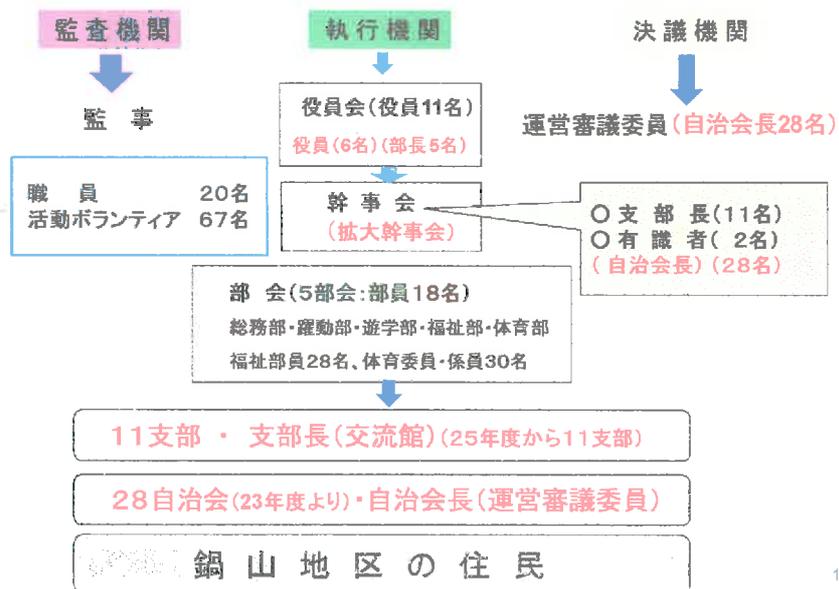
(5) 8年間を経た躍動鍋山の役割と

既存組織の位置づけ (平成27年4月改正)

- ①躍動鍋山職員の雇用方式定着に伴う会則整備
(職員の交付金雇用・躍動鍋山独自雇用など明文化)
- ②自治会連合会・教育後援会の統合による会則整備
(地域課題・要望・周知の観点から自治会長の位置づけを明文化)
- ③団体統合終了による役員会・幹事会・部会の改編
(自治会長を拡大幹事会、部長を役員会の構成員に加えた)
- ④少子高齢・人口減少・福祉の充実等に対応できる体制
(事務局体制・福祉部の強化、女性部の廃止など)

10

② (2)平成27年4月改正の躍動鍋山組織図



11

② 組織図

(3) 躍動鍋山の目的（改正なし）

会員相互の連携と協働により、地区内の諸課題の解決と進展に努め、**全ての住民が生き生きと躍動し、安全で安心して生涯を輝き暮せる地域づくりに寄与し、推進することを目的とする。**

3. 躍動鍋山の事業

① 新規事業一覧

平成18年～28年度まで

| 躍動鍋山のおもな動き一覧 (1) 平成28年8月現在 | | | |
|----------------------------|--|--|-----------|
| 年度 | 会則及び組織の動き | おもな新規事業 | 収入決算(円) |
| 18 | 設立総会(18, 12, 20) 会則施行(18, 12, 20) | 躍動鍋山新年交歓会(酒無し) 里づくり講座 躍動鍋山広報発行事業 地域マネージャ事業 | 615,916 |
| 19 | 鍋山振興対策協議会を統合 地区内県道改良促進期成会を統合 鍋山公民館指定管理事業を躍動鍋山に移管 貸館収入を収益事業に計上 会則一部改正(19, 10, 20) | 第1回鍋っこまつり 第87回ふれあい運動会 出前講座 躍動鍋山ホームページ開設 安全安心事業(防犯チョッキ500着作製) | 4,058,390 |
| 20 | 会則一部改正(20, 5, 2) 鍋っこまつり出店料を収益事業収入に計上 | 住民意向調査(アンケート:住民15%) 主要団体会費徴収事業開始(4団体) | 3,798,216 |
| 21 | 鍋山公民館を閉館し事業を躍動鍋山に移管 鍋山体協を躍動鍋山に統合し事業を移管 会則一部改正(21, 11, :施行は22年度) | 住民意向調査集約冊子を全戸配布 (261件の記述回答すべて掲載) | 4,583,680 |

| 躍動鍋山のおもな動き一覧 (2) 平成28年8月現在 | | | |
|----------------------------|---|--|-----------|
| 年度 | 会則及び組織の動き | おもな新規事業 | 収入決算(円) |
| 22 | 会則改正(21, 11)により次のように施行 ・分館・分館長制から支部・支部長制に移行 ・自治会は支部のもとに置くことを明文化 ・統合した団体長を副会長に任命 ・18名の団体長幹事を幹事会構成から外す ・部会から部制、部の新設と名称変更 ・事務局体制の強化と整備 公民館閉館に伴い「鍋山公民館のきらく」発刊 郵便切手類・ドリンク販売事業を開始 | 山林地籍調査導入と体制づくり事業 災害時要援護者支援体制整備事業 54回県消防操法大会出場支援事業 89回運動会・4回鍋っこまつり中止 躍動鍋山賞詞交換交流会(酒付き) 体育部・5競技大会開始 生き生き鍋っこ事業(子供・女性・老人) 人権同和問題・男女共同参画研修事業 自主防災体制先進地視察 パソコン教室 | 8,487,609 |
| 23 | 備品等貸出収入を収益事業に計上 | 鍋山放課後子ども教室開設 鍋山流安心生活見守り隊組織づくり事業 葉がる鍋山事業(地籍先進地視察も含む) 地域課題・振興対策事業 簡易図書コーナー開設 世代間ふれあい交流事業(高齢者・児童) 鍋小運動会・発表会支援事業 | 9,211,674 |

| 躍動鍋山のおもな動き一覧 (3) 平成28年8月現在 | | | |
|----------------------------|--|--|------------|
| 年度 | 会則及び組織の動き | おもな新規事業 | 収入決算(円) |
| 24 | 会則一部改正(24. 5. 19) 鍋山福祉委員会を統合し事業を移管 雲南社協より活動車を譲受け使用開始 視察団体受入れ:5団体・103名 | まめなか君の水道検針事業 まもる君のまかせて支援事業(資料・4) 雪かき応援隊設立と除雪機導入 デマンド型乗合タクシー導入対策説明会 里山活動先進地視察研修 地区計画づくりへのアンケート事業開始 | 9,452,363 |
| 25 | 総務管理事務事業開始(職員雇用・労働契約) 車両管理収入を収益事業に計上 視察団体受入れ:6団体・93名 | 買物弱者支援事業(移動販売車導入誘致) 廃棄物適正処理対策推進モデル事業 鳥獣害対策支援事業(いのしし倶楽部設立) 避難情報発令対応ポスター作成(600枚) 地区計画アンケート集約事業 はつらつディサービス支援事業(月3回) 配食サービス受託事業 いきいきサロン支援事業(13サロン) 一人暮らし高齢者研修交流事業 自治会福祉委員研修事業 ボランティア活動啓発事業(研修と交流会) | 15,269,940 |

16

| 躍動鍋山のおもな動き一覧 (4) 平成28年8月現在 | | | |
|----------------------------|---|--|--------------------------|
| 年度 | 会則及び組織の動き | おもな新規事業 | 収入決算(円) |
| 26 | 視察団体受入れ:8団体・81名 | 鍋山地区計画策定事業(意見集約・編集) 鍋山消防団後援事業 災害時要援護者登録再調査事業(62名) 災害時一時避難所再検討事業(28自治会) 遊べる水辺づくり事業 郵送大腸がん検診容器販売開始(受託) 狩猟免許取得支援事業(鳥獣害対策) | 18,147,223 |
| 27 | 会則一部改正(27. 5. 9) ・職員の雇用方式定着に伴う会則整備 ・自治会連合会・教育後援会統合による整備 ・団体統合に伴う役員会・幹事会・部会の改編 ・少子高齢・人口減少・福祉強化対応への整備 鍋山自治会連合会・小学校教育後援会を統合 他団体会費徴収を終了し躍動会費に一元化 視察団体受入れ:12団体・100名 | 第1次防災備品備蓄事業終了(170万円) 安心生活応援隊設立(雪かき応援隊改称) 野良から子供の見守り事業 健康づくり事業 鍋山地区計画発刊事業(700冊発刊) | 17,353,784 |
| 28 | 28年度事業推進の基本方針 ・鍋山地区計画に基づく組織運営 ・雲南市との基本協定に基づく課題対応と運営 ・地域づくり応援隊事業導入による事業の活性化 視察団体受入れ予定:5団体・80名 | 第60回県消防操法大会出場支援事業 雲南市地域づくり応援隊事業 生き生き鍋っこ水辺の教室事業 第2次防災備品備蓄事業(100万円) 鍋山再発見プロジェクト事業・伝統文化継承事業 | (予算) 19,940,000 17 |

3. 躍動鍋山の事業

② 躍動鍋山の運営は4本柱

(1) 地域振興管理事業

(2) 地域振興事業: 地域づくり

(3) 生涯学習事業

(4) 地域福祉事業

18

3. 躍動鍋山の事業

③ 躍動鍋山の18主要事業

19

③ 躍動鍋山の18主要事業

(主要事業の一部を紹介)

1. 山林地籍調査事業導入対策と推進態勢強化事業
21. 11. 9 より
2. 災害時要援護者避難支援体制整備事業
22. 4. 1 より
3. 防災用品備蓄事業と備品活用避難訓練事業
23. 1. 25 より
(地域防災組織育成助成事業採択 : 26. 7. 10)
(電源立地対策交付金事業採択 : 28. 8)

③ 躍動鍋山の18主要事業

(主要事業の一部を紹介)

4. 子育て支援事業
23. 4. 1 より
(鍋山放課後子ども教室開設運営)
5. まめなか君の水道検針事業
24. 4. 1 より
(水道メーター検針時に要支援者への声掛け)
6. まもる君のまかせて支援事業
24. 7. 1 より
(携帯キッズ電話による見守り事業)

③ 躍動鍋山の18主要事業

(主要事業の一部を紹介)

- 7. 安心生活応援隊事業 24. 12. 1 より
(雪かき応援隊事業を27年度から名称変更)
- 8. 交通弱者支援事業 25. 3. 1 より
(デマンド型タクシー活用促進対策)
- 9. 買い物弱者支援事業 25. 5. 16 より
(ファミリーマート移動販売車の地区内巡回販売と連携)

③ 躍動鍋山の18主要事業

(主要事業の一部を紹介)

- 10. 景観保全事業 25. 4. 1 より
(島根県モデル事業 : 廃棄物適正処理対策推進事業)
- 11. 鳥獣害対策事業 26. 2. 15 より
(躍動鍋山いのしし倶楽部の設立と対策支援事業)
- 12. 鍋山消防団後援事業 26. 4. 1 より

③ 躍動鍋山の18主要事業
(主要事業の一部を紹介)

13. 遊べる水辺づくり事業 26. 11. 14 より
(鍋山交流センター付近
河川敷除伐・清掃整備事業)
14. 鍋山小学校教育後援事業 27. 4. 1 より
15. 健康づくり事業 27. 4. 1 より
(広報による啓発、保健師、
医療機関との連携活動)

③ 躍動鍋山の18主要事業
(主要事業の一部を紹介)

16. 野良から子どもの見守り事業 27. 4. 1 より
(高齢者グループ、いきいきサロン
地域住民等による子どもの見守り活動)
17. 生き生き鍋っこ水辺の教室事業 28. 4. 1 より
18. 鍋山地区内実態調査事業 28. 8. 1 より
(我が家の将来・地域の将来への全戸アンケート)
(集落ごとの農地現況調査・11支部で実施)

1. 山林地籍調査事業導入対策と推進態勢強化事業 (21.11.9 より)

里坊地区1工区推進委員会
H.26, 9月

里坊1工区:境界確認作業中
H.26, 10月



26

2. 災害時要支援者登録事業(29年度までの状況)

| 自治会名③ ⑧ | 23年度 | 26年度 | 29年度 | 自治会名 | 23年度 | 26年度 | 29年度 |
|------------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 上乙多田上 | 0 | 1 | 1 | 里坊郷上 | 1 | 4 | 6 |
| 上乙多田下 | 0 | 1 | 1 | 里坊郷下 | | 0 | 0 |
| 下乙多田 | 0 | 1 | 0 | 里坊後 | 0 | 2 | 2 |
| 島 嶺 | 4 | 1 | 1 | 殿河内上 | 1 | 0 | 0 |
| 深谷上 | 0 | 2 | 2 | 殿河内中 | 1 | 0 | 0 |
| 深谷下 | | | 0 | 殿河内下 | | 0 | 0 |
| 加食田郷 | | 0 | 9 | 明 石 | 1 | 3 | 3 |
| 栗 原 | | 0 | 1 | 太 田 | 0 | 0 | 0 |
| 禪 定 | 13 | 10 | 10 | 御城山 | | 0 | 0 |
| 喜 内 | 6 | 5 | 3 | 成木下津原 | 3 | 2 | 2 |
| 作り石 | 1 | 1 | 1 | 坂本郷 | 1 | 2 | 2 |
| 翁根波中 | 0 | 0 | 0 | 坂本南側 | 0 | 4 | 4 |
| 前根波下 | 1 | 2 | 2 | 桧杉谷 | 0 | 7 | 6 |
| 後根波 | 3 | 4 | 3 | | | | |
| 里坊郷 | 3 | 3 | 3 | 合 計 | 39 | 55 | 2762 |

3. 防災用品備蓄事業と備品活用避難訓練事業

(23. 1. 25 より)

(地域防災組織育成助成事業採択決定 : 26. 7. 10)

4年越しの応募で
ゲットできました

格納庫も含め総額約170万円の
備品が揃いました



4. 子育て支援事業 (23. 4. 1より)

(鍋山放課後子ども教室開設運営)

七夕飾りは地域の皆さんにも
見てもらいます

放課後教室に来たら
まず宿題です



5. まめなか君の水道検針事業(24年4月より)

1)水道検針業務委託契約(24年4月現在)

・24年4月 : 検針口数 509口 (420世帯)

委託料 832,560円

・29年4月 : 検針口数 525口 (412世帯)

委託料 905,124円

2)検針員 7人 (躍動鍋山職員扱い)

・報酬(24年4月) 1時間 750円

(25年4月) 800円

(26年4月より) 850円

3)声掛け対象

・要支援者(当初) 32名

(29年9月現在) 62名

30

6. まもる君のまかせて支援事業(24年7月1日より)
(携帯キッズ電話による見守り事業)

① 携帯電話の親子機能を利用した24時間見守り体制

② 費用 : 躍動鍋山の自主会計より支払い

* 初期導入費 (電話 11台、事務手数料)

* 子機10台の使用料 (780円×10台×12月) 93,600円

* 親機1台の使用料 (2,310円×1台×12月) 27,720円

合計 121,320円

③ 27年2月より : 子機 25台 : 234,000円

④ 29年3月より : 子機 15台 : 168,120円

31

6. まもる君のまかせて支援事業

まもる君の活動状況（5年間）(29. 9. 1現在)

| | 着信件数 | 発信件数 | 訪問件数 |
|------------|------------|------------|------------|
| 24年 | 48 | 59 | 56 |
| 25年 | 55 | 41 | 35 |
| 26年 | 5 | 4 | 29 |
| 27年 | 24 | 21 | 13 |
| 28年 | 7 | 5 | 7 |
| 29年 | 30 | 10 | 13 |
| 累 計 | 169 | 140 | 153 |

32

7. 安心生活応援隊事業（24. 12. 1より）

*「雪かき応援隊事業」として開始 ・ 24. 12. 1

*「安心生活応援隊事業」として衣替え ・ 27. 4. 1

① 受託作業内容（一部紹介）（料金は作業ごとに設定）

- ・除雪作業 ・草刈り ・立木、竹伐採 ・農作業(軽)
- ・大工、左官 ・空き家等の片付け ・墓掃除 ・剪定作業
- ・話し相手 ・買い物、病院への送迎付添い ・障子張替え
- ・その他の軽作業

② 作業従事者（躍動鍋山の職員扱い）

- ・作業賃金は職員報酬として支払

33

8. 交通弱者支援事業 25. 3. 1より
(デマンド型タクシー活用促進対策)

- ① 実証運行モデル地区の指定を受け
サロン、高齢者クラブ等に制度説明及び利用
促進対策の出前講座を実施
- ② 25年3月1日より鍋山地区で実証運転開始
- ③ 26年4月より鍋山地区で本格運行開始

9. 買い物弱者支援事業 (25. 5. 6より)
(ファミリーマート移動販売車の地区内巡回販売と連携)

1) 事業の概要

- ① ファミリーマート里方店 の移動販売車と連携
 - ☆販売車は「買いもん助け隊・だんだん号」
 - ☆鍋山地区内を毎週木曜日に巡回販売
- ② 躍動鍋山の支援内容
 - ☆要援護者・高齢独居者・高齢者世帯を中心に
食料品・日用品などの買い物希望の取次ぎ業務
 - ☆販売車の周知と利用促進支援
- ③ 雲南市の補助金導入で車両が購入されている

10. 景観保全事業 (25. 4. 1 より)
(島根県モデル事業 : 廃棄物適正処理対策推進事業)

モデル事業は終わっても
監視の目は厳しく 27. 6月



モデル事業では投棄物
一斉撤去作業も25. 11月



11. 鳥獣害対策事業 (26. 2. 15 より)
(躍動鍋山いのしし倶楽部の設立と対策支援事業)

講習会では、サル・カラスの
撃退砲づくりも 26. 9月



いのしし倶楽部4基目の捕獲檻
を設置 26. 7月



12. 鍋山消防団後援事業 (26. 4. 1 より)

収入

会費 533, 000円(1300×410戸)

支出

団活動助成金 140, 000円(1分団・6部)

団員活動支援 390, 000円(5000×78名)

連絡協経費 3, 000円(会議費等)

38

13. 遊べる水辺づくり事業 (26. 11. 14 より) (鍋山交流センター付近河川敷除伐・清掃整備事業)

背丈の倍もある竹藪との
戦いでした 26. 11月

第1回戦は高齢者チーム
9名で。後を楽しみに。11月



14. 鍋山小学校教育後援事業 (27. 4. 1 より)

収入 会費 574, 000円(1400×410戸)

支出 環境整備費 245, 000円
スポーツ振興費 80, 000円
児童活動費 200, 000円
研究費 40, 000円
需用費 9, 000円

15. 健康づくり事業 (27. 4. 1より)

(広報による啓発、保健師・医療機関との連携活動)

1)事業の概要

- ① 講習会の開催
- ② 広報「躍動鍋山」への「保健師だより」の連載
- ③ 「郵送大腸がん検診容器販売」と啓発活動等
- ④ 雲南市保健師等による健康管理指導
「まめなか君の水道検針同行」による健康管理指導

16. 野良から子どもの見守り事業 (27. 4. 1より)
(高齢者グループ等による配布用チラシ)



42

17. 生き生き鍋っこ水辺の教室事業 (28. 7. 18)

鍋山小1・2年生 27. 9月

三刀屋小5年生 27. 10月



18. 鍋山地区内実態調査事業 (28. 8. 1 より)
(我が家の将来・地域の将来 : 全戸アンケート)
(集落ごとの農地現況調査 : 11支部で実施)

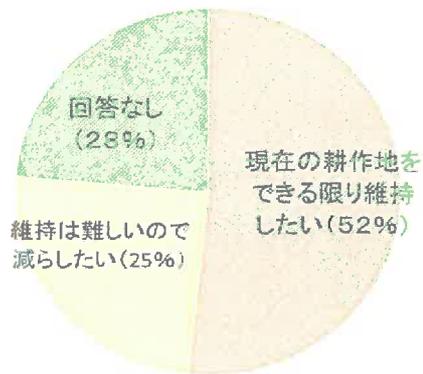


44



アンケート結果 (415世帯 回答数325)

今後の農地利用について

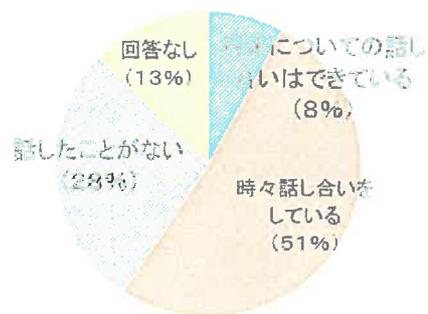
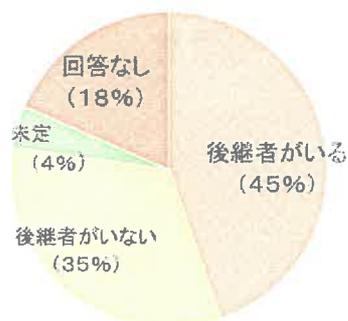


46

アンケート結果 (415世帯 回答数325)

自宅等（住居）の後継者

家族間での話し合い



47

3. 躍動鍋山の事業

② 安らぎの里づくりへの挑戦動機

- 1) 20年度実施のアンケート調査
 - ・ 住民意向調査結果と261件の記述回答
- 2) 自然災害発生に備えたモデル事業の導入
 - ① 22年度事業
 - ・ 災害時要援護者避難支援体制整備事業
 - ② 23年度事業
 - ・ 鍋山流安心生活見守り隊組織づくり推進事業
- 3) 運動会の中止（新聞報道：24, 1, 12）

48

② 安らぎの里づくりへの挑戦動機

- 2) 22・23年度補助事業を通して
 - ③ 明確になった課題
 - (1) 支部・自治会の姿勢により要援護者の扱いに差が出ている
 - (2) 自主組織への要援護者情報が不十分
 - (3) 一時避難所(各地域)の見直しが必要
 - (4) 今後の登録・更新の扱いの統一が必要
 - (5) 「絵に描いた餅」にならない事業の発掘

49

4. 声掛け・見守り事業などの取組みから 見えてきた課題

- ① 三刀屋町内の個人医院等が減少し
在宅医療・訪問看護等が困難な状況
- ② 市立病院等の充実も当然必要だが
個人医院に頼る在宅医療の充実
- ③ 地域内資源（専門職等）把握と連携体制づくり
- ④ 関係機関（医療・看護・社協等）による
バックアップ体制づくり

50

28年度より

5. 躍動鍋山の組織運営方針

- ① 鍋山地区計画に基づく組織運営
- ② 地域と行政のまちづくりに関する
基本協定に基づく組織運営

51

- ① 鍋山地区計画に基づく組織運営 28年度より
(地区計画決定と発刊事業: 27. 7完成)
(一般販売価格: 500円)



52

① 鍋山地区計画に基づく組織運営

地区計画策定までの事業内容(地区計画とは)

- (1) 自治会点検シート集約(H25・26年度)
・地区内28自治会の課題集約(アンケート)
- (2) 諸団体・グループ等の意見集約(H26年度)
・研修会・各種会合でのアンケート実施など
- (3) 鍋山地区計画発刊事業(H26・27年度)
・中心プロジェクトの決定
「みんなで安心・みんなできいき・無理をしない地域づくり」
・地域文化の探索と掲載
「民話・園歌・校歌・鍋山マップなど」
・資料編の掲載
「躍動鍋山の組織・人口推計・地域課題・防災対応など」

53

28年度より

5. 躍動鍋山の組織運営方針

② 地域と行政のまちづくりに関する

基本協定に基づく組織運営

54

② 地域と行政の協働のまちづくりに 関する基本協定に基づく組織運営

1. 相互の役割

(1) 躍動鍋山の役割

鍋山区域を包括する地域の主体者としての役割

① 必須業務

行政が担うより効率的で効果的な業務について、行政が
依頼するもの。

ア、行政連絡業務（配布・回覧・周知）

イ、地域要望の把握（躍動鍋山を經由して行政に要望）
（協定締結前より実施）

ウ、各種委員等の推薦

（統計調査員・投票立会人・民生児童委員・主任児童委
員等）（一部は協定締結前より実施）

55

② 地域と行政の協働のまちづくりに
関する基本協定に基づく組織運営

1. 相互の役割

(1) 躍動鍋山の役割

鍋山区域を包括する地域の主体者としての役割

② 選択業務

地域の自主性を尊重し、地域の主体性や個性を生かす業務を行政から受託するもの。

ア、まめなか君の水道検針業務(協定締結前より実施)

イ、郵送大腸がん検診容器販売(協定締結前より実施)

ウ、交流センター指定管理業務(協定締結前より実施)

エ、鍋山放課後子ども教室事業(協定締結前より実施)

オ、後期高齢者タクシー優待券販売業務・住民票の発行業務等(現在、行政との協議について要望中)

56

② 地域と行政の協働のまちづくりに
関する基本協定に基づく組織運営

1. 相互の役割

(2) 行政(雲南市)の役割

躍動鍋山の活動を支援するために担う役割

ア、情報の提供

イ、研修機会の提供

ウ、人的支援

エ、活動資金の提供

オ、活動拠点施設の提供

カ、その他相互に必要と認めること

57

6. 躍動鍋山の新たな挑戦

(28年度新規事業)

(1) 地域づくり応援隊事業導入による 事業の活性化と永住化対策

① 「地域の活性化と新風導入事業」

「応援隊員活動支援事業」

(29年度予算 : 710,000円)

58

6. 躍動鍋山の新たな挑戦

(28年度新規事業)

② 「鍋山よかところ発見事業」

「応援隊員から見える

鍋山よかところの整備等支援事業」

(29年度予算 : 260,000円)

59

6. 躍動鍋山の新たな挑戦

(28年度新規事業)

③ 「元気な鍋山見守り事業」

「安心生活見守り事業のバージョンアップと
ささえあい事業との協働事業」

(29年度予算:60,000円)

60

6. 躍動鍋山の新たな挑戦

(29年度新規モデル事業)

(2) 「躍動鍋山ささえあい事業」

「(雲南市における過疎地域等)

集落ネットワーク圏形成支援事業」

総務省事業 (29年度単年度事業)

事業申請交付金額 : 12,644,000円

61

(1) 鍋山ささえあい事業とは

2) 目指す姿

住民主体の支え合いコミュニティ

3) 目指す理想のコミュニティ

住民が住み慣れた地域で

◎ 困りごとを自分たちの手で解決しながら

できるだけ長く健康で安全安心に楽しく

暮らすことができる 地域

62

(2) 鍋山ささえあい事業とは

4) 集落ネットワークが目指す理想的な取組み

1. みんなの生活を守るための取組み

- ・住民同士で見守る体制の確立
- ・地区内の環境整備

2. 地域を活性化するための取組み

- ・子どもから大人まで参加できる活動展開
- ・外出しやすい仕組みの確立

3. 地域を維持するための取組み

- ・行事、組織を集約し、住民の負担を減らしていく
- ・外部機関と連携し、地域の負担を減らす

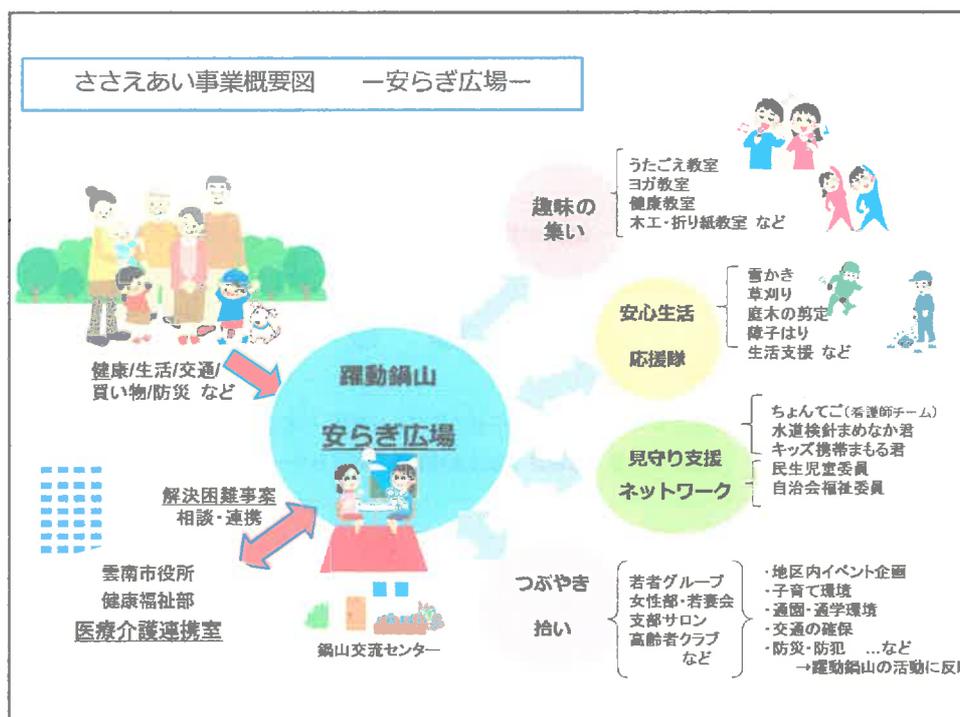
63

(2) 鍋山ささえあい事業とは

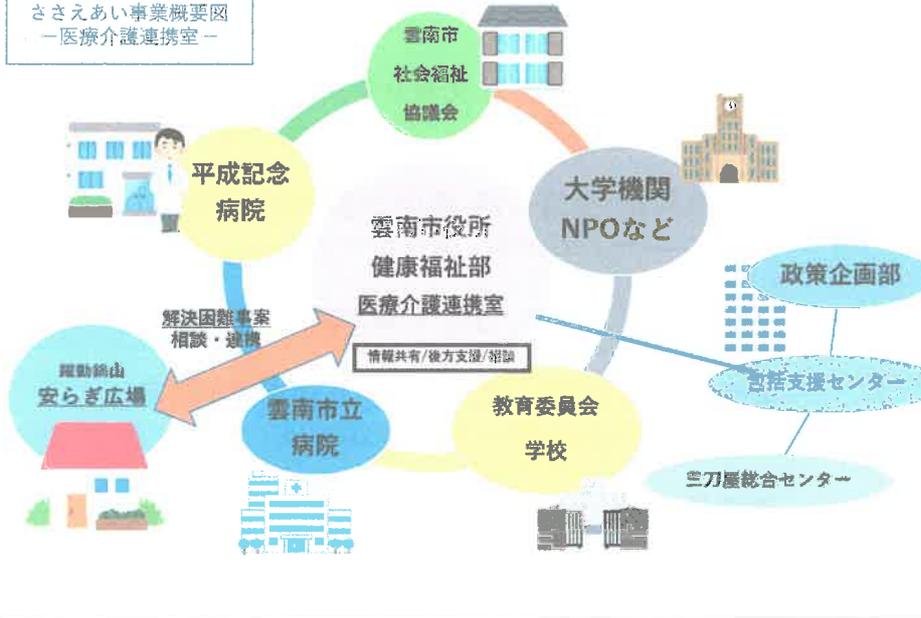
1) 事業の目的

- ① 躍動鍋山を中心に、交流センター内にささえあいの拠点を つくる
- ② 地域福祉・生活支援・医療介護・集いの場等の課題やニーズの把握、調査を行う
- ③ 地区内の人材等、社会資源の調査・発掘を行う
- ④ 地区内の人材をはじめとする社会資源を活用し、外部とのネットワーク構築に取り組む
- ⑤ 具体策として、センター内に住民の「集いの場(仮称)」を開設する

64



ささえあい事業概要図
 『医療介護連携室』



見守り支援ネットワーク・趣味の集い・つぶやき拾い・安心生活応援隊

お気軽にどうぞ 安らぎ広場

平成29年度 運動と安らぎの里づくり鍋山「ささえあい事業」

平成29年度 総務省「過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業」

7. 躍動鍋山の予算

(1)平成19年度(センター管理会計を統合)

| | |
|------------------------------|------------|
| ① 収入決算額 | 4,058,390円 |
| ・雲南市補助金 | 1,098,000円 |
| ・別枠補助事業・受託事業費 | 718,000円 |
| (センター指定管理料 698,000円 を含む) | |
| ・収益事業収入(貸館) | 102,145円 |
| ・会費 | 488,400円 |
| (躍動会費・センター管理会費) | |
| ・諸収入 | 1,651,845円 |
| (振興対策協議会・運動会会計等の統合・繰入金・繰越金等) | |

7. 躍動鍋山の予算

(2)平成25年度(福祉委員会業務及び会計を躍動鍋山に統合)

| | |
|----------------------------------|-------------|
| ① 収入決算額 | 15,269,940円 |
| ・雲南市交付金(人件費算入) | 7,916,000円 |
| ・社協助成金(福祉推進員報酬等) | 1,223,850円 |
| ・別枠補助事業・受託事業費 | 1,720,700円 |
| (センター指定管理・放課後教室等) | |
| ・収益事業収入 | 1,993,436円 |
| (貸館・印刷・まめなか君の水道検針・切手・ドリンク・備品管理等) | |
| ・会費 | 850,000円 |
| (他団体会費徴収業務廃止。躍動鍋山・センター管理会費のみ) | |
| ・諸収入(繰機資金・参加者負担金等) | 1,565,954円 |

7. 躍動鍋山の予算

(3)平成28年度

| | |
|---|-------------|
| ②収入決算額 | 19,949,495円 |
| ・雲南市交付金 | 8,238,000円 |
| ・社協助成金等 | 353,058円 |
| ・補助事業・受託事業費 (センター管理・社協委託・放課後教室・地域づくり応援隊等) | 4,157,730円 |
| ・収益事業収入 (貸館・印刷・水道検針・切手・ドリンク・備品管理・安心生活応援隊事業等) | 2,924,835円 |
| ・会費 (躍動鍋山・消防団後援・小学校後援事業会費等) | 2,260,000円 |
| ・諸収入 (参加者負担金・繰越金・繰入金・視察料・寄付金等) | 2,015,872円 |

7. 躍動鍋山の予算

◎平成28年度からの年会費：1世帯当り
会費(会員の負担金) 4,500円

| | |
|--------------|--------|
| ・地域振興費 | 300円 |
| ・生涯学習費 | 200円 |
| ・地域福祉費 | 500円 |
| ・体育活動費 | 300円 |
| ・鍋山交流センター管理費 | 300円 |
| ・鍋山消防団後援事業費 | 1,500円 |
| ・小学校後援教育事業費 | 1,400円 |

◎ 28年度 躍動鍋山の収益事業 (2,923,835円)

| | | |
|--------------|----|---------------|
| ① 印刷機管理事業 | 収入 | 695,251円 |
| ② 施設管理事業 | 収入 | 558,844円 |
| ③ 水道検針事業 | 収入 | 905,124円 |
| ④ ドリンク類販売事業 | 収入 | 291,747円 |
| ⑤ 切手類売捌き事業 | 収入 | 64,680円 (手数料) |
| ⑥ 備品等管理事業 | 収入 | 150,005円 |
| ⑦ 安心生活応援隊事業等 | 収入 | 258,184円 |

7. 躍動鍋山の予算

(4) 平成29年度

| | |
|-----------------------------------|-------------|
| ① 収入予算額 | 32,644,000円 |
| ・雲南市交付金 | 8,286,000円 |
| ・社協助成金等 | 353,000円 |
| ・補助事業・受託事業費 | 17,622,700円 |
| (指定管理・社協委託・放課後・応援隊・支え合い・等) | |
| ・収益事業収入 | 2,735,000円 |
| (貸館・印刷・水道検針・切手・ドリンク・備品管理・安心生活事業等) | |
| ・会費 | 1,763,000円 |
| (躍動鍋山・消防団後援・小学校後援事業会費等) | |
| ・諸収入 | 1,884,300円 |
| (参加者負担金・繰越金・繰入金・視察料・寄付金等) | |

7. 躍動鍋山の予算

②平成29年度からの 年会費 : 1世帯当り
会 費(会員の負担金) 4,300円(200円引き下げ)

| | |
|--------------|--------|
| ・地域振興費 | 300円 |
| ・生涯学習費 | 200円 |
| ・地域福祉費 | 500円 |
| ・体育活動費 | 300円 |
| ・鍋山交流センター管理費 | 300円 |
| ・鍋山消防団後援事業費 | 1,300円 |
| ・小学校後援教育事業費 | 1,400円 |

76

7. 躍動鍋山の予算

(7)平成29年度 躍動鍋山 福祉事業予算

| | |
|-----------------------|------------|
| ①収入予算額 | 1,706,100円 |
| ・地域福祉推進員報酬(報酬に充当) | 360,000円 |
| ・地域福祉推進活動助成(報酬に充当) | 288,000円 |
| ・福祉活動助成金(福祉事業費に充当) | 353,000円 |
| ・サロン助成金交付事業(13サロンに交付) | 130,000円 |
| ・配食サービス委託料(報酬・経費に充当) | 110,000円 |
| ・デイサービス委託料(報酬・菓子代に充当) | 260,100円 |
| ・躍動鍋山会費(福祉事業に充当) | 205,000円 |

7. 躍動鍋山の予算

(6)平成29年度 躍動鍋山 福祉事業予算

| | |
|-------------------|------------|
| ②支出予算額 | 1,706,100円 |
| ・地域福祉推進員報酬 | 912,800円 |
| ・福祉部員研修会 | 80,000円 |
| ・一人暮らし高齢者研修交流会 | 50,000円 |
| ・ボランティア活動啓発研修事業 | 50,000円 |
| ・まもる君のまかせて支援事業 | 50,000円 |
| ・元気な鍋山見守り事業 | 30,000円 |
| ・いきいきサロン助成金交付事業 | 170,000円 |
| ・配食サービス事業 | 90,000円 |
| ・福祉活動広報事業 | 53,000円 |
| ・デイサービス諸費(菓子代に充当) | 15,300円 |
| ・福祉事業推進費 | 205,000円 |

8. なぜ、協働によるまちづくり？

無理をしない地域づくり？

- ① 鍋山地区の人口推移分析だけを見ても
 - ・いつまでも現状の体制では、集落の維持はできません
- ② 無理をしない地域づくりは手抜推奨ではありません
 - ・持続可能な地域づくり体制への切り替えが必要です
- ③ 誰かがやってくれる時代は終わりました
 - ・できることから、皆でやってみましょう